

新医療センター
建設問題

安心して住みつけられる地域医療をめざす会 郷右近市長に 「新医療センター凍結方針の撤回」を申し入れ!



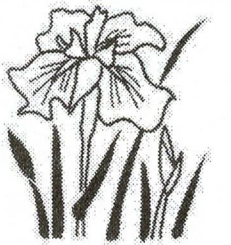
参加者からは、「この間、市民アンケートや署名などに取り組んできたが、今の水沢病院をそのままにということにはならない。この間、医師確保や経営の問題等、大丈夫かの疑問の声もあったが、水沢病院の役割は総合診療科の設置など十分に議論されてきた。水沢病院内を先

市民が安心して暮らせる地域医療(産科・小児科)の充実、お産ができる地域)の提供を…

5月15日、安心して住みつけられる地域医療をめざす会(赤旗奥州出張所 水沢大手町三丁目59)戸三保子筆頭代表が、郷右近市長と懇談し、「市長が凍結すると表明している新医療センター建設問題は、凍結しないよう」求めました。

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



日見学してきたが、老朽化はひどい。市長は今の計画をどうするのか聞きたい」と述べました。

危険であれば、今の機能を他(江刺病院等)へ移すことも必要と考えている…市長

市長は、「皆さんにご心配いただき、真剣にアクションを起こしていただいたことに感謝したい」「小児科医は胆沢病院もいなくなったので、小児科医を増やし、入院できる状況を作ること。産科も市内で分娩できる状況を作りたいが、産科医だけでは成り立たないので、一つ一つ積み上げ、構築していきたい」「子どもの入院先がない。診察も出来ない状況もあり、これらを充実させるうえで、市がやらなければならないのか、県などと協議したい」と述べました。さらに、「水沢病院をどうしていくか。水沢病院の現状を見たときに、ボイラー室など、建物自体が危険で医師や労働者にとっても、耐震化が必要ではないかと思ったが、受け入れら

れていない。危険であれば今の機能を江刺病院や前沢診療所など、他へ移すことも必要と考えており、どうしたら良いか検討している」などと述べました。

「危険だから建て直す」とで議論されてきた

参加者は、「水沢病院は危険だから建て直すことで議論されてきた。正に政治家の責任だ。緊急避難は何なのか説明が必要。また、新たな感染症が発生しており、これらに対応できる病院が必要ではないか」「少子化の中で、市の特徴といえば市立病院は貴重なものであり、市が誇れるものではないか。ここまで積み上げてきた計画であり、場所の問題はどこにしても反対はある」と指摘。

選挙で水沢公園への建設は否定されたと考えている。水沢病院は建てることも建てないとも言えない…(市長)

「水沢公園地内に建てる」とした構想は全く無くなったのかの質問に対し、市長は、「選挙で水沢公園への建設は否定されたと考えている」「水沢病院は建てることも建てないとも言えない。地域医療は必要なものであり、若者にとって重要な声であるとは思っている」などと述べました。

戦争とめる！ 憲法守る！ 5.19市民アクション…Zプラザアテルー

